

# まちの話題



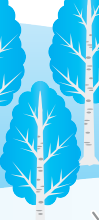
## 水に落ちたら 浮いて待て

温水プールアクリナちゃっぽで着衣泳講習会が行われました。初めに心肺蘇生法などの救急法講習を行い、その後プールで、服を着たまま水に落ちたらどうなるかの体験をしました。講師の帯広市水上安全赤十字奉仕団副委員長の佐藤悦弘さんは「服や靴を身につけていることで体が浮きやすくなる。岸から遠いときはムリに泳がず、大の字になって体を浮かせて救助を待ってください」と教えてくれました。



## 心にも バリアフリーを

まちづくり講演会「車いす建築士から見えるもの ～生きる力へ～」が開かれました。講師の牧野准子さんは平成17年に進行性の脊髄難病を発症。「人はみんな違うから、同じになろうと思わず、相手のことを認めて尊重しあうことが大事だと思えるようになった。ハンディのある人と関わることで、街中にあるバリアに気づくことができ、工夫や思いやりでバリアフリーにできることがある」と話してくれました。

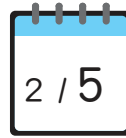




## 子育てに失敗なんてない



きの子育て支援センターで育児講習会「生まれてきてくれてありがとう」が開かれました。センター長の井川さんが自分の子育てを通して感じたことを現在子育て中のお母さんたちに伝えました。「子どもはもともと自分で大きくなる力を持つてる。自分で育てていく力を信じて」と優しく語ってくれました。



## 中学校生活最後の大会を自己ベストで初優勝



長野県で行われた全国中学校スケート大会で、共栄中学校3年生水戸咲良<sup>さくら</sup>さんが、1,000mで優勝しました。水戸さんは「本当にうれしい。支えてくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。スケートを通じて多くの人を勇気づけ、応援してもらえるような選手になりたいです」と話してくれました。



## 冬の避難所の厳しさを体験



冬の災害に備えた冬季避難所宿泊体験訓練が行われました。今回は宝来地区町内会連合会の避難所運営委員会が避難所の設営や運営に協力。傷病者の搬送訓練などのほか、災害時の被害状況の確認などに役立つドローンの模擬飛行操縦も体験。参加者は内容の濃い訓練に満足していました。



## 地域的话题を町長と語り合う



豊田会館で「豊田老人クラブ講話会」が開催され、会員35人が参加しました。町の近況や地域コミュニティの大切さなど、まちづくり全般をテーマに小野町長が講話。参加者と高齢者の健康づくりほか身近な話題について熱心な意見交換をした後は、一人ひとりと握手を交わし交流を深めました。